

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練 の実施について

平成29年4月21日

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施について

秋田県男鹿市での訓練の実施

北朝鮮は弾道ミサイルの発射を繰り返しており、昨年8月3日のように弾頭部分が日本の排他的経済水域に落下するケースも生じています。

このような状況下において、弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における対処について、国民の理解を進める必要性が高まっていることから、3月17日に、秋田県及び男鹿市と共同して、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施しました。

【訓練の流れ】

<訓練開始>

Jアラート等を使って【ミサイル発射情報】を伝達

Jアラート等を使って【屋内避難の呼びかけ】を伝達。この伝達を受け、住民が屋内避難を開始

屋内避難が完了

Jアラート等を使って【落下場所等についての情報】を伝達

<訓練終了>



屋内避難の呼びかけを聞き、児童が先生の先導により、近くの頑丈な建物である小学校の体育館に避難

訓練の実施を通じてより一層国民の理解を進める必要性

今般の我が国を取り巻く環境は非常に厳しく、報道では頻繁に北朝鮮による弾道ミサイルの発射について取り上げており、国民の不安感は今までになく高まっていると考えます。このような状況下では、弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における対処について、より一層国民の理解を促進する必要性があり、早期に、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施する必要があると考えています。

《参考》総理大臣答弁（H29.3.14 衆・本会議）

問】国民への情報提供や国民保護の取組について、総理の見解を伺う。

答（総理答弁）】～今月17日には、秋田県や男鹿（おが）市と共同して、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施する予定です。訓練の結果をしっかりと検証した上で、他の自治体にも同様の訓練の積極的な実施を働き掛けるなど、国民保護の措置が実効的に実施されるよう、万全を期してまいります。～

各都道府県におかれては、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の積極的な実施をお願いします。

訓練の内容について

弾道ミサイルが我が国に落下する可能性がある場合における対処についてより一層国民の理解を促進するため、以下のような訓練の実施をぜひご検討くださるようお願いいたします。

○より実際に近い場面を想定した訓練

<例>

- ・屋内避難先をあらかじめ決めない訓練
- ・屋内避難が間に合わない住民がいるとの想定での訓練
- ・自動車を運転中の住民も参加する訓練

○色々なパターンの訓練

<例>

- ・屋内避難先に地下街等地下がある場所での訓練

また、住民避難訓練と併せて弾道ミサイルが陸上に落下した後の地方公共団体の対応や警察・消防等の活動について訓練を実施することについても、ご検討をお願いいたします。

【参考】 秋田県男鹿市における訓練（①概要）

1 実施日時

平成29年3月17日（金）9：30～10：00

（訓練の流れ）

＜訓練開始＞

○Jアラート等を使って【ミサイル発射情報】を住民に伝達。



○Jアラート等を使って【屋内避難の呼びかけ】を住民に伝達。この伝達を受け、住民が屋内避難を開始。



○屋内避難が完了。○Jアラート等を使って【落下場所等についての情報】を住民に伝達。

＜訓練終了＞

2 訓練実施場所

男鹿市北浦公民館、男鹿市立北陽小学校

3 想定

X国から弾道ミサイルが発射され、我が国に落下する可能性がある」と判明する。

4 主な訓練項目

- (1) 国からJアラート、エムネットを使った情報伝達を実施
 - (2) 防災行政無線及び登録制メールによる住民への情報伝達を実施
 - (3) 北浦公民館及び北陽小学校で住民や先生・児童が屋内避難を実施
- ※・北浦公民館付近で清掃活動等をしている住民が、北浦公民館へ避難する。
・校庭で運動をしている児童及び校門付近で清掃活動をしている住民が、北陽小学校体育館へ避難する。

5 参加機関

内閣官房、消防庁、秋田県、男鹿市等

【参考】 秋田県男鹿市における訓練（②訓練風景）

北浦公民館での訓練



①清掃活動中の避難者役の住民



②ミサイル発射情報を聞き、清掃活動を中止。防災行政無線からの放送を聞いている。



③屋内避難の呼びかけを聞き、お互いに声を掛け合い、近くの頑丈な建物である北浦公民館に避難。



④周囲の安全が確認されるまで北浦公民館で待機。その後、市役所から被害がないとの情報が入り、避難を終了。

北陽小学校での訓練



①校庭で運動している避難者役の先生と児童



②ミサイル発射情報を聞き、運動を中止。児童は先生の近くに集合し、防災行政無線からの情報を聞いている。



③屋内避難の呼びかけを聞き、先生の先導により、近くの頑丈な建物である体育館に避難。



④周囲の安全が確認されるまで体育館で待機。その後、市役所から被害がないとの情報が入り、避難を終了。